

大勢のかかしがお出迎え 佐見かかしまつり

国道54号沿いの佐見会館周辺で、佐見老人クラブが主催する「かかしまつり」が開催されました。国道54号の交通量の減少や、地域の人口や子どもも少なくなってきたことから、少しでも地域の活性化になればと、平成27年から始まり今年で4回目。当初は、約10体を7名で制作して始まりましたが、今では30人以上が関わっています。会場には、農作業服や着物、古着などを着た、約50体の手づくりのかかしが並び、国道を通過する人の目を楽しませていました。

9月20日、小雨の中、かかしの設置作業が進む



会場横では、9月23日に伊丹市の子どもたちと一緒に稲刈りを体験する交流事業を開催



かかしも集まり、にぎやかな会場周辺

いつまでも笑顔で元気に 敬老会

敬老の日に合わせて、これまでのご苦労に感謝し長寿をお祝いする「敬老会」を、頓原農村環境改善センターみせんで開催しました。

9/17
月・祝



声高らかに万歳三唱

式典では、白寿・米寿・喜寿・金婚の各節目のお祝いを迎えた皆さんに記念品を贈呈。アトラクションでは、松江市出身の演歌歌手、小川たけるさんによる歌謡ショーが開催され、青春時代の懐かしい曲などを一緒に歌い、お祝いの席に華を添えました。このほか、今年度、百歳を迎えられる、澤田久子さん（あかぎの里）、尾村トミヨさん（上赤色）、早船久子さ

ん（上赤色）、朝津フミコさん（愛寿園）、渡部一夫さん（角井）、岩根フクヨさん（愛寿園）、黒角雅代さん（町区）、片山君江さん（琴引の里）に、内閣総理大臣からの祝状と銀杯が届けられました。



松江市出身の演歌歌手、小川たけるさん

また、先日、厚生労働省から発表された「人口10万人あたりの百歳以上の高齢者数」は6年連続で島根県が最多（人口10万人あたり101.02人）。飯南町では、9名の方が百歳以上です。

記念品を受け取る
米寿代表の矢飼喜代江さん



第63回雲南剣道大会 琴引剣道少年団が団体、個人で優勝

9/16
日



個人戦優勝の高尾さん



個人戦2位の高橋さん

木次体育館（雲南市）で開催された「雲南剣道大会」で、琴引剣道少年団が団体優勝、個人戦でも優勝を勝ち取りました。団体戦には、高尾斗梧さん、高橋遥希さん、灘尾拓馬さん、安井亮太さん、森山敬翔さんの5人が出場。奥出雲町、雲南市、飯南町から15団体が参加する中、5人全員が自分の役割をしっかりと果たして初優勝。また個人戦では、高尾斗梧さんが優勝、高橋遥希さんが2位に。延長戦もあり体力的に厳しい勝負でしたが、2人とも集中を切らさず、得意技で決勝まで進み、念願の決勝戦での直接対決となり、上位を独占しました。



団体戦優勝のメンバー

健やかな成長を願って ちりけ封じ登山

9/23
日・祝

秋分の日の琴弾山神社例祭に合わせて、「ちりけ封じ登山」が行われました。急な登山道を、手をつないだり、おんぶしたりして登った5組の親子。9合目、標高約1000mにある、子どもたちちりけ封じに霊験あらたかとされる琴弾山神社で御祈願をうけ、真剣な表情で手を合わせてお祈りをしていました。



親子で健やかな成長を祈ります

中国山地でグルメを堪能 第5回道の駅 グルメライド

9/23
日・祝

三次市・庄原市・奥出雲町・雲南市・飯南町の2県5市町にまたがり、全長12.4kmのコースを、6つの道の駅でグルメを楽しみながらサイクリングする、「道の駅グルメライド in 中国山地」が開催されました。



応援に笑顔で手を振り返してくれました



道の駅でほっと一息

イベントには316人が参加。町内では、頓原・赤来の両道の駅で、煮豚串や温かいスープなどが振る舞われました。飯南町内の道の駅は、コース上に設けられた最後の道の駅の二つ。参加者は、スタンプや地域住民の「がんばれ」の声に後押しされ、ゴールを目指していきました。

AR
動画